

みずほCustomer Desk Report 2024/10/25 号(As of 2024/10/24)

金融市場部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】				公示仲値	152.79
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	152.76	1.0780	164.65	1.2916	0.6634
SYD-NY High	152.83	1.0830	164.73	1.2985	0.6661
SYD-NY Low	151.56	1.0771	163.83	1.2911	0.6623
NY 5:00 PM	151.84	1.0828	164.40	1.2977	0.6641
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	42,374.36	▲ 140.59	日本2年債	0.4500%	0.0100%
NASDAQ	18,415.49	138.83	日本10年債	0.9500%	▲ 0.0300%
S&P	5,809.86	12.44	米国2年債	4.0819%	0.0008%
日経平均	38,143.29	38.43	米国5年債	4.0346%	▲ 0.0212%
TOPIX	2,635.57	▲ 1.39	米国10年債	4.2128%	▲ 0.0319%
シゴ日経先物	38,195.00	245.00	独10年債	2.2555%	▲ 0.0565%
ロンドンFT	8,269.38	10.74	英10年債	4.2365%	0.0370%
DAX	19,443.00	65.38	豪10年債	4.4680%	0.0040%
ハンセン指数	20,489.62	▲ 270.53	USDJPY 1M Vol	12.75%	▲ 0.37%
上海総合	3,280.26	▲ 22.54	USDJPY 3M Vol	11.65%	▲ 0.07%
NY金	2,748.90	19.50	USDJPY 6M Vol	11.00%	▲ 0.20%
WTI	70.19	▲ 0.58	USDJPY 1M 25RR	▲ 0.93%	Yen Call Over
CRB指数	282.38	▲ 1.06	EURJPY 3M Vol	10.55%	▲ 0.11%
ドルインデックス	104.06	▲ 0.37	EURJPY 6M Vol	10.28%	▲ 0.21%

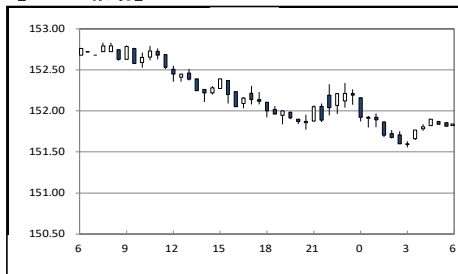
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
10月24日	16:30	独 製造業/サービス業/コンポジットPMI・速報	10月 42.6/51.4/48.4	40.8/50.6/47.6
	17:00	欧 製造業/サービス業/コンポジットPMI・速報	10月 45.9/51.2/49.7	45.1/51.5/49.7
	21:30	米 シカゴ連銀全米活動指数	9月 -0.28	0.5
	21:30	米 新規失業保険申請件数	19-Oct 227k	242k
	22:45	米 製造業/サービス業/コンポジットPMI・速報	10月 47.8/55.3/54.3	47.5/55/53.8
	23:00	米 新築住宅販売件数	9月 738k	720k

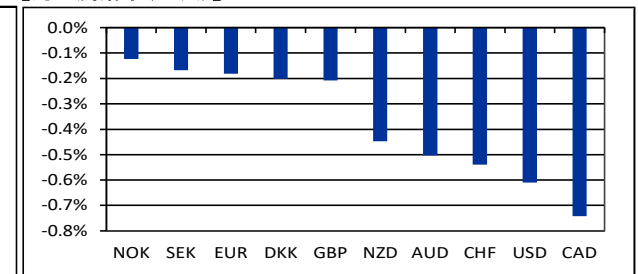
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
10月25日	08:01	英 GfK消費者信頼感	10月 -20	-20
	08:30	日 東京CPI/コアCPI/コアコアCPI	10月 1.8%/1.7%/1.6%	2.1%/2%/1.6%
	14:00	日 景気一致指数・確報	8月 -	113.5
	17:00	独 IFO企業景況感指数/現況指数/期待指数	10月 85.6/84.4/86.9	85.4/84.4/86.3
	21:30	加 小売売上高(前月比)	8月 0.5%	0.9%
	21:30	米 耐久財受注(前月比)/(除輸送用機器)速報	9月 -1%/-0.1%	0%/0.5%
	23:00	米 ミシガン大学消費者マインド・確報	10月 69.1	68.9

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	151.40-152.10	1.0800-1.0850	163.80-165.00

【マーケット・インプレッション】

今週、米大統領選でのトランプ氏優位との見方から米債利回りが上昇し、これに伴ってドル円相場も上昇してきた。前日は、米10年債が4.25%台を付けた後に戻す展開に、ドル円相場も151円台まで下落する展開となった。いったんはトランプ氏優位との見方は市場に消化され、これによるポジション調整は終了した可能性が高い。

今週末には本邦衆院選、来週半ばには日銀決定会合。米国では再来週に米大統領選とFOMCを控え、日米政治・金融政策イベント目白押しの中、明確なトレンドを描きにくい状況が続く。相場が大きく動くとなればやはり米大統領選の結果を受けてになると思われ、それまでは本邦イベントを消化しながらも小動きな展開が続くことが予想される。本日もポジション調整的な動きがメインとなると思われ、151円台が中心となろう。

東京	東京時間のドル円は152.76レベルでオープン。152円半ば近辺でもみ合いながら昼前に152.50レベルを割り込む。午後もし上値を切り下げる動きは続き、結局152.20レベルで海外時間へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、152.20レベルでオープン。午後に米10月PMIを控え、米金利が高値圏から切り下げていく中、151.77レベルまで売られる。その後若干反発し、結局152.06レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.2930レベルでオープン。英10月PMIが市場予想を下回るも、いずれも50を上回る底堅い内容となり、市場への影響は限定的。ドル売りによって上昇した後、結局1.2974レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は152円台後半でスタート。加藤財務相の円安牽制発言や、高水準で推移していた米金利が低下する動きを受け、ドル円は軟調な推移が続き、152.06レベルでNYオープン。朝方に発表された米新規失業保険申請件数が予想を下回った事や、米10月S&Pサービス業PMIが予想を上回った事が好感され、一時152.34レベルまで買い戻される。しかし、その後は伸び悩み、151.80レベル付近まで再度反落する。午後は151.56レベルまで値を下げる場面もあったが、その後は徐々に151.90付近まで値を戻し、151.84レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.07台後半でスタート。1.0780付近を中心とした推移が続くも、続いて発表された独10月HCOBドイツ製造業PMIが予想を上回った事を受け、じり高で推移し、1.0795レベルでNYオープン。午前中は米金利の低下や、ナゲル・独中銀総裁「利下げを急ぎ過ぎるべきではない」との発言が支えとなり、1.0810付近まで上昇。午後もしドル売りの流れが一段のサポートとなり、1.0830レベルまで上値を伸ばし、1.0828レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。